

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和2年11月4日
(令和6年3月31日更新)
住 所 埼玉県さいたま市浦和区常盤7丁目4番1号
県内企業等の名称 株式会社 埼玉りそな銀行
代表者役職 氏名 代表取締役社長 福岡 聡

株式会社 埼玉りそな銀行 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業来変わらぬ目指す姿である「埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行」の実現に向け、地域・お客さまの暮らしや事業の将来にわたる身近で頼りがいのあるパートナーとして行動し、「埼玉版SDGs」の達成に貢献します。
このために社員一人ひとりが「お客さまのこまりごと」「社会課題」を起点に課題解決に取り組むことにより、持続可能な地域社会づくり(SDGs)に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	低炭素社会実現に向け、エネルギー使用量の削減、省エネルギー設備への入替等を進め本社・支店・システムセンターでのCO2排出量を削減する <(現状値)2022年度の数値> 2022年度:10,065t(2013年度比▲33.83%)※2013年度:15,210t	<2030年に向けた指標> 当社のエネルギー使用に伴うCO2排出量実質ゼロ <3年後に向けた指標> 2013年度比で▲85%
社会	従業員参加型・社会貢献活動の推進(本社および浦和中央ビル食堂「子ども食堂応援メニュー※」等を通じた寄付活動) ※1食につき20円を埼玉県社会福祉協議会「こども食堂・未来応援基金」に寄付 <(現状値)2022年度の数値> 累計 5万9千食(寄付額 134万円)	<2030年に向けた指標> 累計 20万食(寄付額 400万円) <3年後に向けた指標> 累計 14万食(寄付額 280万円)
経済	女性ライン管理職※比率の向上 ※ライン管理職…部下のいるマネージャー以上の職層 <(現状値)2022年度の数値> 39.4%	<2030年に向けた指標> 40%以上 <3年後に向けた指標> 40%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、現状から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。